

# 桜丘北校区地区防災計画

桜丘北校区自主防災会

令和5年度版  
ごきんじょ  
「互近助力」

# ～相協力・支え合う力強い地域～

## - 目 次 -

1. 計画の対象地区の範囲	①
2. 活動主体・活動団体	①
3. 基本方針・目的	①
4. 地域の特性	①
(1)人口・世帯数	
(2)社会特性	
(3)建築物など	
(4)地理的環境	
(5)災害特性	
(6)ハザードマップ	
5. 防災活動の基本	③
6. 防災活動の内容	③
(1)防災活動の組織体制	
(2)平常時の活動	
(3)活動の年間基本プログラム	
(4)発災直前の活動	
(5)災害時の活動	
(6)復旧・復興期の活動	
7. 実践と検証	⑧
(1)防災訓練の実施・検証	
(2)防災意識の普及啓発	
(3)計画の見直し	
8. HOW TO	⑨
9. 防災倉庫	





#### (4) 地理的環境

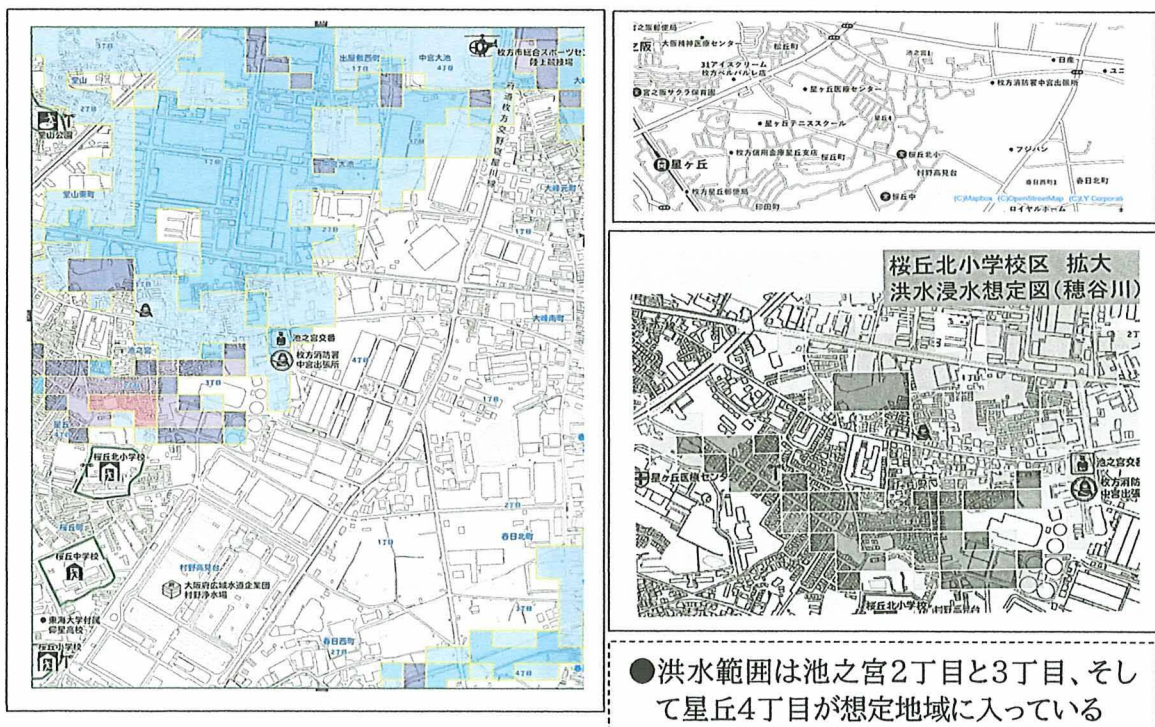
- ・枚方市は、大阪府北東部に位置している。地形としては、淀川の左岸、生駒山地の北部にのびる枚方丘陵上にあり、山間部から船橋川、穂谷川、天野川、がそれぞれ南東か北西に流下して市域住宅地の中を蛇行して淀川に流れ込んでいる。

#### (5) 災害特性

- ・桜丘北校区が位置する地域は、淀川の本流の河川沿いの低地部からは少し離れる。南海トラフ地震による洪水の氾濫の可能性については危険性地域の範囲には入っていない。
- ・わが地域の対象とする異常な現象の種類は穂谷川の洪水であり、危険な被害は浸水である。河川敷防工事の補強で危険度は下がったとみるが、ハザードマップでは被害想定されているエリアが多い(下図)。又溝谷川の水路がわが区域を横断しており、内水浸水も想定されている(下図)。地震破壊も加われば更に想定外のことも発生する。
- ・桜丘北校区における危険な災害は地理特性から見て「地震災害、外水氾濫(穂谷川洪水)、内水氾濫(溝谷川水路)の被害」である。
- ・わが校区内は宅地木造一戸建てが多く、隣接建てで密集に近いところも多い。国難級南海トラフは揺周期が長いと言われており倒壊又特に二次発生の火災延焼が懸念。
- ・崖崩れ・土砂災害区域は校区内にはないが、石垣などの破壊崩れの危険度は有。

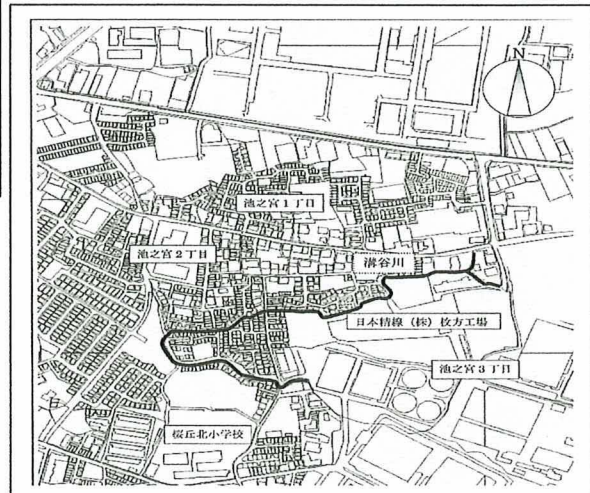
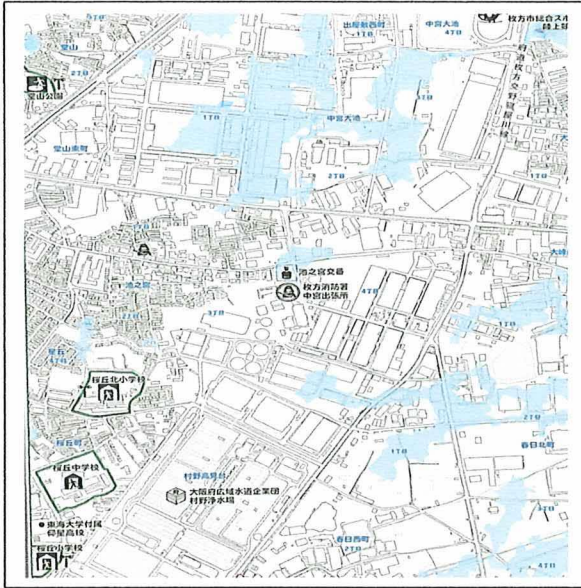
#### (6) ハザードマップ

##### ① 洪水ハザードマップ(想定図)





## ②内水災害ハザードマップ(想定図)



- 星丘4丁目 24～33 一部地域と池之宮 2・3 丁目区域の溝谷川沿い及び低地部エリア。  
又区域には下水路が点在。

### \*住民意見・認識

- ・地理的特性から崖崩れ・土砂災害の懸念は持っていない。河川の防波堤の決壊で氾濫を起こす外水の危険性は低い。
- ・集中豪雨時の内水による浸水については、一部低地部・水路川沿いの地域一帯の住民は土嚢などの準備もしており被害の備えをしている。

## 5 防災活動の基本

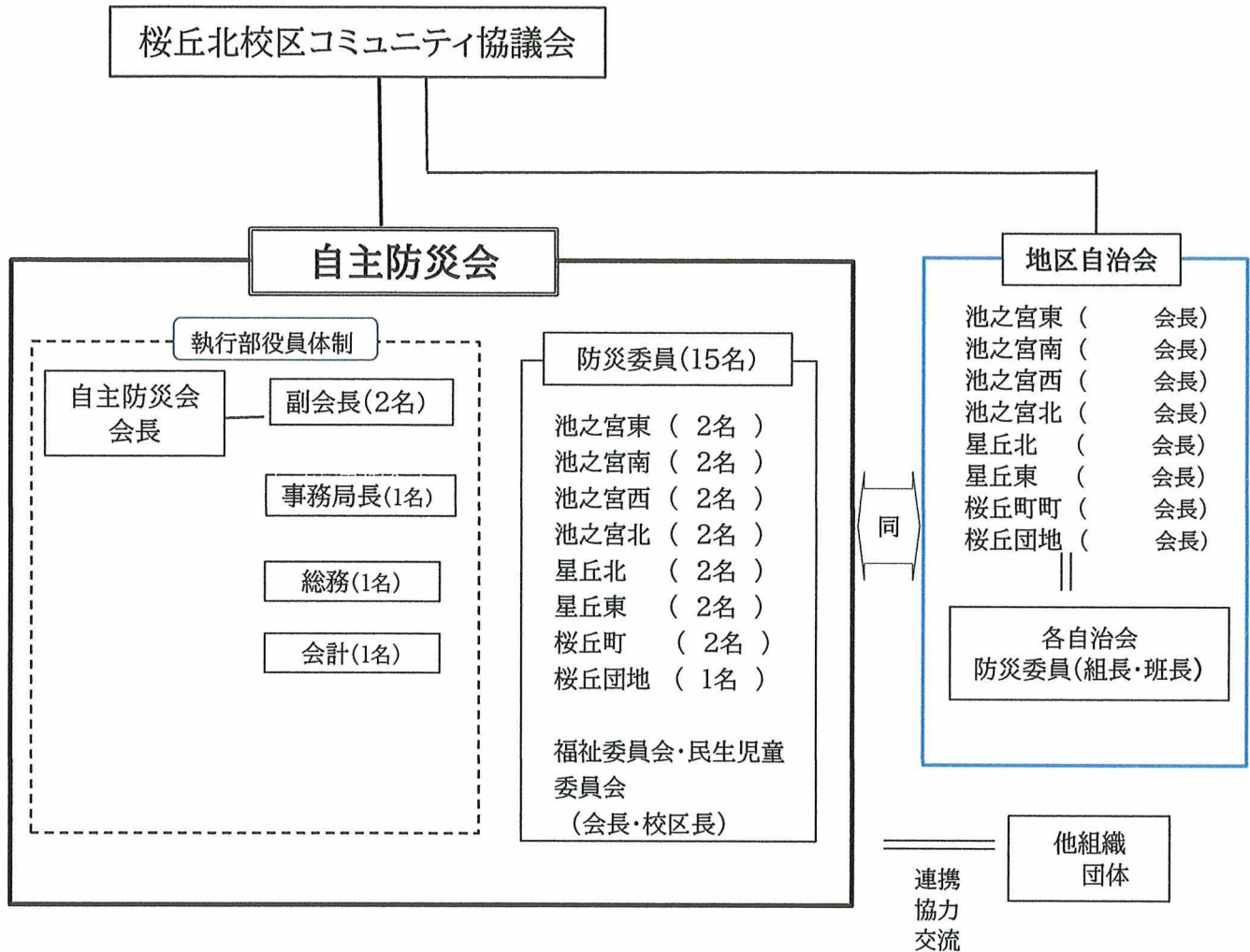
- (1)まずは己の命や身を守るという自助の認識のもと、お互いに助け合うとい共助の基本となる組織的活動をしていく。
- (2)自主防災委員は自主防災会の「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚・使命・連帯感に基づき、災害による被害の予防・低減、避難支援ための自発的活動をする。
- (3)日頃から地域コミュニケーションを育み、地域住民間の相互協力という関係を醸成し、「隣保共同」という土壌をつくる。

## 6 防災活動の内容

防災の活動は平常時は「備え」に対する取り組み、災害時は「救助・避難」に対応する支援。

### (1) 防災活動の体制

#### ① 平常時の体制 (= 組織体制)



#### ●1. 防災委員は役割の分担業務を持つ

\*次項(2)の平常時の活動内容の項参照

#### ●2. いざ!の時の連絡体制(別紙1)

自主防災会組織メンバーはLINEグループにて緊急連絡・通常連絡・オンライン会議等を行う仕組みを持つ。

<発信> 自主防災会会長  
 ||  
 …⇒ 全役員/全防災委員 …⇒ 各自治会会長  
 事務局長

#### ●3. 災害時には特別体制を編成

災害時の防災活動をより効果的に行うために、平素よりの防災組織体制をシフトし編成を組む

#### ② 災害時の体制

R5年度の「災害時の避難支援体制・避難所運営体制」は別紙記載

## (2) 平常時の活動

平常時の活動＝「備え」は3つの大項目(①防災委員の意識高揚・知識の学習 ②防災推進(取組み・普及啓発・訓練) ③環境整備・強化)に整理して取り組む。

項目	内容	分担(◎主○従)		
		役員	委員	主査
全体	・防災事業計画の策定・推進、行政と地区のパイプ役、体制の確保	◎		
知識の習得	・研修用教材の作成 ・教材・講習研修会・見学会等の参加により地域・個の防災・減災に関する知識の習得。行動ワンポイントレッスン	◎	○	
防災推進 取組み 普及啓発	・住民の防災意識を高めるべく、継続的な防災・減災・備災の啓発活動 *BOSAI啓発チラシを作成/配布・回覧、又地区の各集会での説明 *家庭内での備え、自主防災/備災対策を促進	◎	○	
	・地域行事を活用しての防災デモンストレーション実施。コミュニティ行事の参加	○	◎	
防災訓練	・HUG・DIGの繰り返し継続実施を行い、疑似体験でケーススタディを重ねる ・実践的体験型の防災訓練をプランニング。住民参加の個別訓練や総合訓練の繰り返しの継続実施	◎	○	
	・避難所運営現実体験の訓練実施 ・救急救命救護処置、応急手当・処置、介護等専門分野の訓練	◎	○	
防災環境の 整備 防災の備え強化	・人材の発掘	◎		自治会
	・防災資機材・備蓄品等の充実、定期的保有管理状態を点検、補充調整	◎	○	
	・My区域の地域特性・災害特性・危険度、避難経路の把握 ・災害発生時の行動、そのための学び ・避難行動要支援者・災害時要配慮者・要援護者の把握 ・避難者要支援リストを管理し、避難支援協力体制の確立 ・防災に対する家庭での備えの推進	◎	○	自治会
	・地域事業者及び関係機関・団体との連携、体制確保 (福祉団体・学校・PTA・消防団・病院・スーパー・団地・マンション・近隣自治会自主防災組織・近隣事業場etc) ・必要となる協力事業者・個人の災害協定の締結	◎	○	
	・マイタイムラインの作成推進		◎	自治会
	・重点課題抽出と検討の取り組み	◎	○	
	・どう対応するHow Toの制覇・集合住宅の在宅防災・在宅避難の対応		◎	
	・集合住宅の在宅防災		◎	

## (3) 発災直前の活動(風害・水害時)

- ・気象情報、警報・避難情報を的確にとらまえ、迅速な伝達・連絡を行う。
- ・住民の動向確認(避難判断・行動)、避難の呼びかけと誘導をとる。

#### (4)活動の年間基本プログラム

年間の活動日程を大項目別に標準化し、年度の成果検証を踏まえ内容の充実を図る。  
 繰返し継続で時は流れるが、マンネリ化が出ないように委員会で知恵を出し合う。

月	知識習得	普及啓発	防災訓練	備え強化 (環境整備)	(特記)	
4		「桜フェスタ」での ミニデモ演出		各項目を組み入れた年間計画を策定し、スケジュールに沿った活動を 役割分担で着実に実行していく(*R6年度は別記)		
5	委員会での ワポ°イントレッシン	防災チラシ(春) の地域回覧			防災委員 定例会議	
6			模擬体験研修			
7	委員会での ワポ°イントレッシン				防災委員 定例会議	
8						
9	委員会での ワポ°イントレッシン				防災委員 定例会議	
10		防災チラシ(秋) の地域回覧	防災訓練			
11	委員会での ワポ°イントレッシン	「スタンプラリー」での デモイベント				
12					防災倉庫棚卸 (在庫チェック)	
1	委員会での ワポ°イントレッシン					防災委員 定例会議
2	委員会での ワポ°イントレッシン					防災委員 定例会議
3	委員会での ワポ°イント学習			防災倉庫調達 確認	防災委員 定例会議	



## (5)災害時の活動

### ①行動の基本

- (1)自らの安全を確保(自守)、家族等の安否を確認する。屋内にいる場合は必ず火元を消す。
- (2)自らと家族等の安全が確保できた場合、所定の退避場所→指定避難所へ集合する。
- (3)自主防災委員の基本行動は、枚方市の救助・支援のもと自治会との協働体制をとり、災害対応を見極め「避難所運営マニュアル」に基づいた行動をとる。

### ②発生時の活動

避難誘導 出火防止 初期消火 救出、救護 避難所運営の自発的行動(補助作業含む)

### ③避難について

(物資が届く)

- ・わが校区の指定避難場所は第1次は「桜丘北小学校」、2次は桜丘中学校である。福祉避難所(福祉施設)は指定避難所としてわが地区には現在のところ無い。
- ・一時避難所としては日本精線(覚書締結)と市の協定避難所である久保田鉄工。共に敷地のオープンエリアでの臨時避難者受け入れ場所となっている。
- ・自治会で「避難時の集合場所、火災発生時の避難場所、又要配慮者の特別避難場所、地域での協力緊急的避難地等々」を要明確に。
  - \*自主避難所は物資の準備がない。\*火災での避難は小学校グラウンドになっている。
- ・避難の呼び掛け、避難者誘導(特に避難行動要支援者)、避難者情報(在宅確認)の把握、等の行動をとる。

### ④避難所の運営

#### 〈1〉運営体制

- 避難所は市の担当者、施設管理者(学校)、及びコミュニティ協議会・自主防災組織が相協働して、避難所運営組織体制を設ける。
- コミュニティ組織、及び自主防災会の構成メンバーで協議し、臨機応変・迅速に自治会総ぐるみの臨戦態勢をとる。
- 総務班が全体を総括し運営本部(全体管理)の機能をもつ。各班は決められた役割任務、が基本。
- 長期生活に対して問題点が発生する。協議し問題点を是正する。必要な場合は体制も再編成する。

#### 〈2〉運営の内容

役割行動	その内容	役割班(担当)	
全体の運営管理	一切合切、避難所の全体運営管理、指図	総務班	総務係
避難者の管理	避難者名簿作成、安否確認への対応、避難者ケア		避難者管理係
情報の収集伝達	避難要配慮者(災害弱者)に関する情報収集・把握 被害情報の収集把握、救援機関への報告、住民への各種情報広報伝達		情報係
ボランティア対応	ボランティアの受け入れ対応、調整、管理		ボランティア係
施設の見張り	避難所の安全確認・確保、又防犯・防火に関すること	施設見張り班	
食料・物資対応	備蓄品持出し、食料物資・給食水等受入れ、配分協力、管理、又炊出し等に関すること、物資分配	食料物資班	
衛生の管理	避難所の環境(ゴミ、風呂、トイレ、掃除、衛生、ペット、生活用品等)に関すること	衛生管理班	

\*避難所運営の詳細については「避難所運営マニュアル」に明記

## ⑤在宅避難者への対応・支援

\*別紙に記す

## (6)復旧・復興期の活動

- ・避難所では生活に日常性の確立が係わってくる時期、マニュアルに基づき運営管理の検証・見直しを行う。避難所生活で発生する不具合(苦情処理・支援物資・衛生管理・プライバシー、等々)の洗い出しを行い、それを是正し、ニーズに合わせて臨機応変に運営の変更・改善をしていく。
- ・災害発生後その後の住民の生活実態・状況に応じて、コミュニティ・自治会・自主防災会・福祉委員会で連携し対応すすめる。

## 7 実践と検証

各活動を実行後、結果の検証を行い、改善と新たなやり方を話し合い次に生かす、完了は無い。繰り返し継続が大事。

### (1)防災訓練の実施・検証

実施した防災訓練の内容を検証し、今後、訓練の実施を実行するためにはどのような改善や新たな訓練が必要となるかを検討。防災訓練とは「災害時に適切な行動を取るための事前準備活動」である。人集め先行で遊び感覚的なイベントを工夫して組み入れるも、その本質は外さない。

### (2)防災意識の普及啓発

「日頃からの備え・知っていたら被災の低減出来た・この事故予防出来た」を耳にする。この声を無くす。南海トラフの深刻さを知る。一人でするのではなくみんなで。IT活用は。多くの人に。それどころではない そんなアホな！

### (3)計画の見直し

地区防災計画は作成して完了ではない。防災活動が継続的に実施されていくように一年一年と見直しを行い、そして本計画を活用しての実行性あるものにする。

### 今後の活動の検証として

#### ①防災体制の検証

役員等の災害時における役割、地区自治会、福祉・民生の方々、他専門部の方々と連携促進など実践に即した動きをができているか。

#### ②防災訓練の検証

実践に即した積み上げの訓練となるよう定期的な見直しを行っているか。

#### ③課題整理の検証

課題整理が出来ていないことが課題ではないか、実務的にならないように、頑張ろう。

いつ来るかわからないのが、災害だ！

## 8 How To

「こんなステージの時どうする」「こんな場面に遭遇した時どうする」—自防災会で話し合い、対応のできる行動をとれるようにしておく。(マニュアル化をする)

○ What would you do in such a case?

Such a scene (case)	
1. 車に乗っているとき地震が来た！	
2. スーパー等にいるとき地震が来た！	
3. 電車・バスに乗っているとき地震にあった	
4. 安否確認はどのようにして？	
5. 冬の避難所生活	
6. いろんな条件下での行動	
7. 能登震災で何を思う？	
8. 車×防災	
9. 帰宅困難、その備え	
10. 防災とスマホ活用、どこまで知ってる？	
11. 在宅での断水・トイレの確保	
12. マンション住居での影響は？	
13. 在宅での断水・トイレの確保	





自主防災倉庫A備品管理表

2023年12月17日

NO	品名	数量	実数	備考	NO	品名	数量	実数	備考
1	毛布	3	3		45	エンジンオイル	1	1	4サイクル用
2	ヘルメット	16	16		46	0.5ℓオイル	1	1	2サイクル用
3	消火用バケツ	25	25		47	ポリ フィルム	4	4	2500巾×10M
6	かけや	1	1		48	ざる(大)	4	4	
7	ロープ	4	4		49	ハンディストレッチャ	1	1	
8	パール	2	2		50	ポリラップ	74	74	
9	鉄ハンマー	3	3		51	ユニットイレ	1	1	
10	斧	1	1		52	乾電池	12	12	単1(11)単2(1)
11	発電機(大)	1	1		53	笛(ホイッスル)	20	20	
12	発電機(小)	1	1		56	水道用ホース	1	1	
13	アルミおわん	9	455		57	さわやかトイレ	1	1	(箱)100回分
16	ガスボンベ	21	21		59	小篋	11	11	
17	腕章	46	46		60	紙コップ	1	1	袋 50個入り
18	防煙マスク	16	16		61	簡易寝袋	12	12	
19	布担架	1	1		63	ねじくぎ	2	2	(箱) 2箱
20	リヤカー	2	2			折りたたみ式ゴミ袋掛け	14	14	3個
22	のぼり	9	9			トイレマン100回分	1	4	
23	ブルーシート	10	9		66	簡易トイレ	5	12	
24	スコップ	10	10		67	簡易テント	10	6	
25	つるはし	4	4		68	テント用足場	5	5	
26	のこぎり(小)	2	2		70	木のトイレ	1	1	
27	ボルトクリッパー	1	1		71	計量カップ 2.4ℓ		1	
28	燃料缶(中)	2	5	10ℓガソリン用	72	かまどセット		1	
29	燃料缶(小)	2	3	5ℓガソリン用	73	給食用ケース	26	10	蓋つき10個
30	ハンデガスレンジ	9	5	Bに7		グラウンドシート	1		給水バルーンの敷物
32	はんごう	8	8		76	ビブス(避難所用)	30	28	
34	台車	1	1			テント用LEDライト	8	0	乾電池単4 3本(1個)
36	携帯用浄水器	8	8			新発電機	2	2	インバーター対応
39	ジャッキ	2	2			太陽光パネル	1	1	
40	8ℓ鍋(鉄)	2	2			充電器	1	1	
41	4ℓ鍋(アルミ)	3	3			浄水器	1	1	
42	2ℓ鍋(アルミ)	2	2			アルミ皿(プレート)		100	

自主防災倉庫B備品管理表

					64	折り畳み式ごみ箱	14	7	
4	投光器	2	2		69	震災時持ち出しBOX	1	1	
5	強カライト	11	11		75	保存水	17	17	賞味期限2023
16	ガスボンベ	15	15		77	ゴミ箱ポリ 蓋つき	1	1	中にごみ袋
21	コードリール	4	5			紙コップ		750	
30	ハンデガスレンジ	7	7		79	ビニール	1	2	
33	軍手	15	13		36	携帯用浄水器フィルタ	1	8	
35	レターケース	1	1		28	ガソリン携帯缶	5	5	
37	ビニール袋(ごみ用)	2	沢山	4.5リットル1袋	80	LEDライト	8	4	
38	拡声器	2	2		78	サランラップ	60	60	単品1
43	グローリーライトラ	7	7	リーラー付		アルミプレート	1	2	
55	リュック(非常持ち出	1	2	25点入り	90	救急バック	1	1	
	カンパン	3		箱(2023年6月		非常用持ち出しケース	1	1	
62	延長コード	2	2			サバ缶	4	4	